

関係各位

2021年12月25日
株わだまんサイエンス
機能性事業・OEM部

◆2021年産胡麻若葉チップ中のアクテオシド含量について

従来どおり、生産年度毎の胡麻若葉チップ中のアクテオシドの測定をした結果を下記に申し上げます。

<測定機関> 日本大学 食品生命学科 食品分析学研究室より2021年12月25日結果受け

<試料名>

2021年産鹿児島産胡麻若葉チップ(2021年10月4日収穫)

*依頼の通り微粉化せずそのまま分析。少量の秤量では、秤取部位(枝や茎や葉部分)によってアクテオシド含量に差が出るのが予想されたため、秤量サイズを大きくした(1.0gを秤量)。また秤量から分析まで独立した3回の実験を行った。

<分析方法>

試料約1.0gを量り取り、20mLの60%メタノールで抽出し(終濃度50mg/mL)、抽出液をそのままHPLCで分析した。(1回目秤取量1.00g、2回目秤取量1.02g、3回目秤取量1.03g)

<HPLC条件>

Shimadzu Prominence HPLCシステム

カラム: X-Bridge C18 (4.6×150mm, 5μm)

移動相: A: 0.1%ギ酸水溶液

B: 0.1%ギ酸含有アセトニトリル

時間	移動相 B
0-15	5→35
15-40	35→100
40-42	100
42-43	100→5

カラム温度: 40℃

流速: 0.8 mL/min

検出: PDA 検出器 (検出波長 340nm, 234nm)

注入量: 10 μL

<結果> アクテオシド含量

	1回目	2回目	3回目
Act (%)	1.209	1.156	1.088
平均 (%)	1.15		
SD	0.061		